

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2022-187690
(P2022-187690A)

(43)公開日 令和4年12月20日(2022.12.20)

(51)Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 B 1/018 (2006.01)	A 6 1 B 1/018 5 1 5	4 C 1 6 0
A 6 1 B 1/00 (2006.01)	A 6 1 B 1/00 6 5 0	4 C 1 6 1
A 6 1 B 17/94 (2006.01)	A 6 1 B 17/94	

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 13 頁)

(21)出願番号	特願2021-95815(P2021-95815)	(71)出願人	304021831 国立大学法人千葉大学 千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号
(22)出願日	令和3年6月8日(2021.6.8)	(74)代理人	110000279 弁理士法人ウィルフォート国際特許事務所
		(72)発明者	丸山 哲郎 千葉県千葉市中央区亥鼻一丁目8番1号 国立大学法人千葉大学 医学部附属病院内
		(72)発明者	関根 雅 千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号 国立大学法人千葉大学 フロンティア医工学センター内
		Fターム(参考)	4C160 NN21 4C161 AA01 CC06 FF43 GG11 GG15 GG22 HH21 LL02

(54)【発明の名称】 ストッパーおよびそれを用いた内視鏡システム

(57)【要約】

【課題】内視鏡からの処置具の過度な突出により誤って体壁等を傷つけることを防止したり、慎重になり過ぎて処置具の挿入に時間がかかるのを抑制することが可能なストッパーの提供を目的とする。

【解決手段】ストッパーS1は、内視鏡5に設けられた導入口51aから導入され内視鏡5の内腔51を介して体内に挿入される長手形状の処置具3、に取り付けられるストッパーであって、導入口51aよりも基端側における処置具3の部位に着脱自在に固定され、処置具3の先端部が内腔51の先端開口51bから所定長さLを超えて突出しないように、導入口51aへの当接により処置具3が内視鏡5の内腔51へ進入する度合いを制限するものである。

【選択図】図2

